TERUMO

取扱説明書(保証書付)

テルモ電子体温計 P330

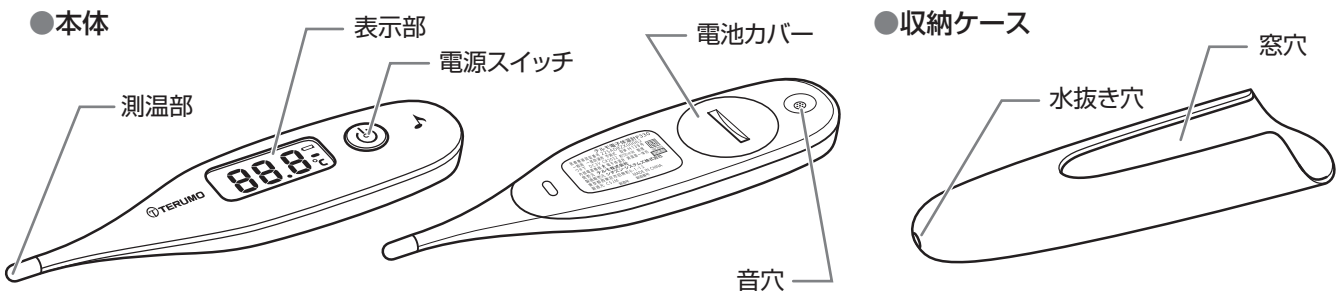
♪メロディ音体温計

2013年8月

ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、「取扱説明書」は必ず保管してください。

注意
- 人の体温測定以外に使用しないでください。
- ワキ下以外で測定しないでください。

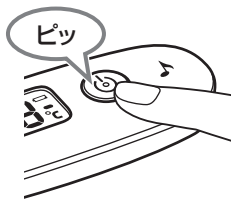
◉ 各部の名前



◉ 体温の測りかた

1 電源を入れる

体温計を収納ケースから出し、電源スイッチを押します。



正しく測るために

● 測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽く拭き取ってください。

〈全点灯〉 → 〈メモリー〉 → 〈測定準備完了〉

表示部が全点灯します。

全消灯した後に、前回の測定値(メモリー)を表示します。バックライトが自動で約2秒間点灯します。

2 ワキの下にはさむ

ワキの下の**くぼみの中心部**に体温計の先端があたるように、**斜め下方向(30°)**からはさんで、ワキを**しっかり**閉じます。

3 ワキをしっかり閉じて約30秒待つ

注意
- 体温計をはさんだ方の手のひらを上に向け、もう一方の手でひじを脇腹に押えつけるようにして、ワキの下に体温計をしっかり密着させてください。
  特にお年寄り、やせている方は密着しにくいので注意してください。

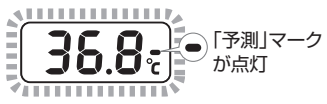
正しく測るために

● ワキが開かないようにしてください。
ひじを曲げて腕を体に密着させると、ワキが開きません。逆の手で腕を軽く押えると、しっかりはさめます。測定を介助する方がいる場合、介助者が測定者の腕の外側から優しく押えてください。

● 体温計が冷えている場合(冬季等)、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。

4 メロディーが鳴ったら取り出す

- ワキから取り出すと、自動でバックライトが点灯します。
- メロディーが鳴っている途中で電源スイッチを短く押すと、メロディー(メリーさんのひつじ)を止めることができ、バックライトが点灯します。



- 音量及びメロディーの変更はできません。
- 音穴を指でふさがないよう、ご注意ください。メロディーが聞こえにくくなります。

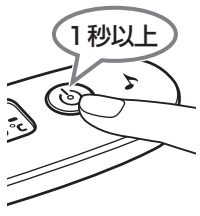
注意
- くり返し検温をするときは1分以上時間を置くなど、体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。

実測検温するとき

1回目の**メロディーが鳴っても体温計を取り出さず**に検温を続けます。
検温開始から約4分30秒後に実測検温に切り替わります。
約10分後にメロディーが鳴り、実測検温が終了します。

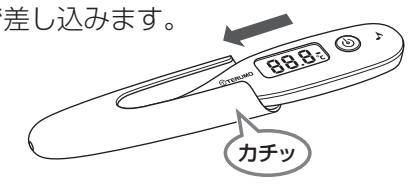
5 電源スイッチを押して(1秒以上)電源を切る

電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源が切れます。



6 本体を収納ケースに入れる

液晶画面が見えるよう、収納ケースに収納してください。本体を収納ケースにカチッと音がするまで差し込みます。

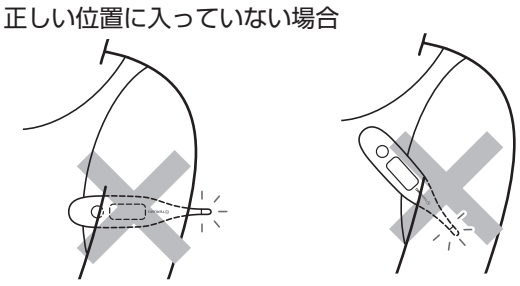


本製品の特長

- ●聞き取りやすい大きな**メロディー**で、測定終了をお知らせ
- ●**約30秒**で測れる予測式体温計
- ●暗い部屋でも見やすい**バックライト画面**
- ●大きな文字で**見やすい**液晶表示
- ●前回の測定値を表示する**“メモリー機能”**

こんなときは正しく測れません

●正しい位置に入っていない場合



※「❷ワキの下にはさむ」を参照して、体温計を正しい位置に入れてください。

●ワキの下以外での検温
本製品はワキ専用です。ワキの下以外（口中等）では、使用しないでください。

●入浴・運動・飲食直後等
入浴、運動、食事、お茶等の後は、体温が上がっています。約30分間は検温を避けてください。

●汗をかいた状態
汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。
測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽く拭き取ってください。

●起床直後
起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。
起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か、30分以上経ってから検温してください。

●検温中に動く
検温中に体温計が動くと正しく測定できません。検温中は安静にしてください。

●体温計が冷えている場合(冬季等)、体温計を周囲温度になじませてから測定してください。

●くり返し検温をするときは1分以上時間を置くなど、体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。

品質保証書　このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生しましたときは、下記の保証規定により無償対応いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名：テルモ電子体温計P330

お名前：

ご住所：

TEL：

お買い上げ販売店名：

印

お買い上げ年月日：

年　月　日

テルモ株式会社　東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

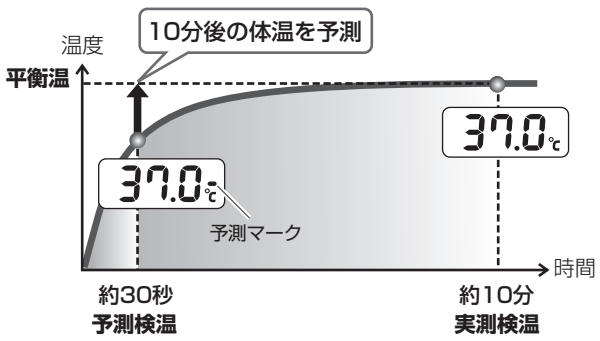
保証規定

(1) 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
(2) ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへご連絡ください。
(3) 保証期間中に、通常の使用において万一故障が発生したときは、品質保証書を現品にそえて送付していただければ、無償対応いたします。
(4) ただし、以下の場合は保証期間中でも有償になります。
  (イ) ご使用中で取扱いの過誤(落としたり、強いショックを与える)により発生した故障。
  (ロ) 正しい状態(使用後は収納ケースに入れる等)でご使用にならなかった場合。
  (ハ) 消耗部品
  (ニ) 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
  (ホ) 火災、地震、水害等天災地変等の不可抗力による故障及び損傷。
  (ヘ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  (ト) 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
  (チ) 品質保証書のご提示がない場合。
  (リ) 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合(ただし、お買い上げのレシートでも可)、また、字句を書き換えられた場合。
(5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
  This warranty is valid only in Japan.

受付先：テルモ・コールセンター　0120-008-178

予測検温のしくみ

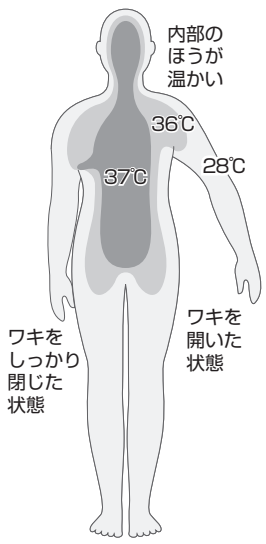
ワキを閉じてから、ワキの下が体の内部と同じくらいの温度**(平衡温)**になるのに約１０分かかります。
本製品は平衡温を**約30秒**で予測します。



「平衡温」とは？

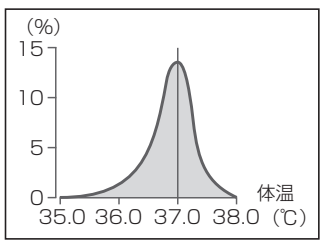
体温を測るとは、体内の温度を測るということです。
外気に接する皮膚表面は、季節や環境等による外気温の影響を受けます。このため体温を測る場合は、外気に影響を受けにくい体内の温度を測る必要があります。
ワキの温度は「体の表面の温度」ですが、しっかり閉じることで体の内部の温度が反映されて温まります。この完全に温まったときの温度を**平衡温(へいこうおん)**といいます。平衡温に達するには、ワキを閉じてから、10分以上かかります。

●身体の内部の仮想温度分布



37℃は発熱とは限りません

熱を測って37℃あると、「熱が出た！」と思いがち。ところが、37℃は平熱の範囲内なのです。
正しく測れば、子供からお年寄りまで、健康なときの体温の平均値は36.89℃±0.34℃（腋窩：ワキ下検温）。
だから37.0℃の平熱の人は珍しくありません。
平熱は人によって異なるものです。



日本人の体温分布
文献)田坂定考
日新医学　44:633,1957

本製品の仕様

販　売　名	テルモ電子体温計P330
型　　式	P330
測 温 方 式	予測式(予測検温・実測検温兼用)
温 度 検 出	サーミスタ
検 温 部 位	ワキ下
測 温 範 囲	32.0～42.0℃
検 温 時 間	予測検温時間：約30秒(メロディーで告知) 約4分30秒後実測表示に切替 実測検温時間：約10分(メロディーで告知)
温 度 精 度	最大許容誤差 ±0.1℃(恒温水槽で実測測定した場合)
表 示 方 式	液晶表示素子による体温値3桁デジタル表示
電 源 電 圧	DC3V(リチウムボタン電池CR2032×1個)
消 費 電 力	約50mW
分　　類	内部電源機器・B形装着部
使 用 回 数	予測検温：1日2回約1.5年　実測検温：1日2回約10カ月
使 用 条 件	周囲温度：10～40℃ 相対湿度：30～85%RH(ただし、結露なきこと)
保 管 条 件	周囲温度：−20～60℃ 相対湿度：95%RH以下(ただし、結露なきこと)
外 観 寸 法	約長さ133mm×幅30mm×厚さ15mm
質　　量	約27g(電池含む)
付　属　品	収納ケース、お試し用電池 CR2032×1個(内蔵)、 取扱説明書(保証書付)、添付文書／EMC技術資料

EMC適合　本製品はEMC規格JIS T 0601-1-2:2012に適合しています。
CISPRグループ分類：グループ1
クラス分類 ：クラスB

※ 本製品の仕様は、改良のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※ 本製品、及び使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
※ 取扱説明書に記載した以外の使用方法及び製造者以外によって行われた修理、改造、再調整等について、弊社はその責任を負いません。

⚠ この表示の欄は人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

測定ができないときは

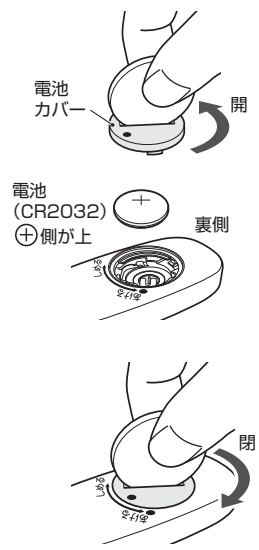
故障と疑われる場合には、まず下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、修理・サービスをお申しつけください。

こんなとき	点検するところ	直しかた
電源スイッチを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか？	「電池交換の方法・お願い事項」を参照して、正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
(点滅) (点灯)	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
Er.1	１回目のメロディーが聞こえる前に、体温計の位置がずれていませんか？	一度電源を切った後、再度測定してください。
Er.2	• 測定前の周囲温度が高くありませんか？ • 連続して測定していませんか？	一度電源を切った後、よく冷ましてから、再度測定してください。
Er.3	センサー回路の断線等で計測回路に異常があった場合	一度電池を外して、再度電池を入れ、「体温の測りかた」に従い測定をやり直してください。Er.3が再度出た場合は、テルモ・コールセンターにご相談ください。
Er.5	マイクロコンピュータ内部エラーです。	一度電池を外して、再度電池を入れ、「体温の測りかた」に従い測定をやり直してください。Er.5が再度出た場合は、テルモ・コールセンターにご相談ください。
Lo	使用可能な周囲温度の下限を超えている。	一度電源を切った後、使用条件の範囲で、再度測定してください。
Hi	使用可能な周囲温度の上限を超えている。	一度電源を切った後、使用条件の範囲で、再度測定してください。
0	測定値が42.0℃を超えている。	人の体温測定以外に使用しないでください。 一度電源を切った後、再度測定してください。

電池交換の方法・お願い事項

電池交換の方法

1. コイン等を電池カバーの溝に入れ、反時計回り(約100°)に回してください。
2. 電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。
3. 古い電池を取り外してください。
4. 新しい電池の+側を上にして電池(CR2032)をセットしてください。
5. 電池カバーの「●」印と、本体側の「●」印を合わせて、カバーの上から押えながらコイン等で時計回りに、「しめる」表示の位置まで回してください。



電池交換時のお願い事項

- ●電池及び電池カバーはお子様等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。
- ●(点滅)が点滅したら、お早めに交換してください。(点灯)が点灯すると、検温ができなくなります。
- ●電池はCR2032です。なお、付属の電池はお試し用(機能確認用)ですので、電池寿命が短い場合があります。
- ●使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
- ●長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

⚠使用上の注意

- ●人の体温測定以外に使用しないでください。
- ●ワキ下以外(口中等)で使用しないでください。
- ●使用の前に、外観に破損がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。
- ●検温を始める前に、次の点に気をつけてください。
  - 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測定してください。
  - ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ってください。
  - ワキ下に強く密着させて測定してください。
  - くり返し検温するときは、少し時間を置くなど体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。
- ●他の機器と併用するときは、影響の有無を確かめてください。誤作動する場合には併用しないでください。
- ●本製品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないでください。
- ●踏まない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないでください。
- ●分解、修理、改造は行わないでください。
- ●電池及び電池カバーは、お子様等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。

※ 添付文書及び取扱説明書に従わない使用がなされた場合及び勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売元及び発売元は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

さらに詳しい情報は

テルモ体温研究所のホームページをご覧ください。

テルモ体温研究所　検索

http://www.terumo-taion.jp/

テルモ体温研究所　体温から健康に

テルモ体温研究所は体温をキーワードに新しい健康生活を提案していきます。

携帯電話からもご覧になれます。

⚠お手入れ方法

- ●ご使用後は必ず清潔にして(水分をよく拭き取って)付属の収納ケースに保管してください。
- ●水洗いはしないでください。
- ●本製品の汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ってください。
- ●消毒液等に水没させないでください。先端(測温部)を消毒する際は、布等に消毒用エタノール(76.9～ 81.4V/V%)を浸し、拭き取ってください。
- ●超音波洗浄はしないでください。
- ●熱湯消毒(50℃以上)はしないでください。

ご相談・お問い合わせ先

この商品に関するご相談やお問い合わせは、型式をご確認の上、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

テルモ・コールセンター
0120-008-178
(9:00～17:00 土･日･祝日を除く)

この体温計の販売名は テルモ電子体温計 **P330** です。

〈テルモホームページアドレス〉
http://www.terumo.co.jp/

管理医療機器
一般的名称：電子体温計
販売名：テルモ電子体温計P330
医療機器認証番号：225ADBZX00062
製造販売元：**シチズン･システムズ株式会社**　東京都西東京市田無町6-1-12
発売元：**テルモ株式会社**　東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
Ⓣ、TERUMO、テルモ、メロディ音はテルモ(株)の登録商標です。

©テルモ株式会社　2013年8月